

## 第 28 回議会報告会 報告書

地 域 名	南谷地域		
年 月 日	令和 7 年 10 月 22 日 (水)	会 場 名	南谷ふれあいの家
開始時間	午後 7 時 30 分	終了時間	午後 9 時 00 分
参 加 数	男性 6 人	女性 0 人	合計 6 人
班 長	浄慶耕造	司 会 者	浄慶耕造
報 告 者	深澤巧 川瀬稔 塚本正彦	書 記	浄慶耕造
班 員 名	浄慶耕造 深澤巧 川瀬稔 塚本正彦		
	市 民	対 応	
報告 に 対 す る 質 疑	<p>① 八鹿病院の赤字の決算の報告があったが、そもそもなぜ八鹿と豊岡と二つの病院組合があるのか。他市町では受診料も違う。</p> <p>公立病院の 8 割は赤字だという。患者サービスを上げて利益を上げることも考えてもらいたい。</p> <p>② 議会改革についてだが、朝来と比べても人口比率で言えば議員数が多い。</p> <p>旧町にかかわりなく、議員はどこ出身であっても知己にかかわらず市民の声を聴いてほしい。</p> <p>③ 『議会だより』の議会改革のページは何を言いたいのかさっぱりわからない。もっと具体的に書くべきだ。</p>	<p>① 昭和 30 年代に和田山町も含む八鹿病院組合ができたが、その後和田山町が抜けて今の形になった。</p> <p>診療報酬は国が決め、病院の配置は県が決める。県南部との医療格差が激しい。兵庫県は医師偏在などを再調整すべきだ。新しい管理者が赴任して危機感を持って改革を進めようとしている。市民も応援してほしい。</p> <p>② 議員数を減らせば少数地域の声が届きにくい。但馬内でも旧町に議員一人というところもある。議員数は市民が決めると考えているが、しっかり仕事をする議員を送り込むということが大事ではないか。</p> <p>③ 紙面の都合で抽象的になっているが、今 1 年半をかけて議会改革をスタートさせた。どういう議会をめざすのか。それを固めないと議員定数・報酬問題も決まらない。議会報告会のあり方や、小中学生への働きかけ、委員会の見直しも行う。まとめた形で具体的に報告するつもりだ。</p>	

市 民		対 応
報告に対する質疑	④ タウンミーティングで「居空間構想」や不登校の子供の居場所づくり、空き家の解体補助など、いろんなことの説明を受けた。だが、結果がどうなったか、どれくらい進んだかの報告がない。議会が情報を提供していくことが必要ではないのか。	④ 市の広報で報告している部分もある。政策の進み具合について、市民に知ってもらう役割は議会も負っている。意識しながらやっていきたい。
市 民		対 応
意見交換会での質疑	<p>① 議会の一般質問で震災に備えて空き家の利用の話が出ていた。今、大杉の市営住宅の募集を停止しているが、耐震工事をやって残すことはできないのか。</p> <p>② 新しい議員さんも増えたが、質問の答弁に部長が立つことが多い。議員は政策提言して市長の答弁を求めてほしい。市民は新しい市長の新しい考えを聞きたいと思っている。</p> <p>③ 議会だよりに一般質問の答弁で「市民目線と言われるが、議員には当局の実態を理解した上での質問もしていただきたい」とあるが驚いた。議会は軽視されているのではないのか。</p> <p>④ 議会のテレビ放送が見づらくなっている。12チャンネルからもう一度▲を押さなければ入れない。本当は議会の放送は大事で番組の中心であるべきだ。</p> <p>⑤ 大屋地域は限界的な環境にあるところもある。その中で市長の姿勢が見えてこない。見えるようにするのが議会の役割ではないのか。</p>	<p>① 市営住宅の空室率が高いことから、古い住宅から募集停止にしている。ただ、地域的な課題もあるので議論をしていきたい。</p> <p>② ご指摘は受け止めたい。私もそこは意識して、養父市をどのようにしていくのかを市長の肉声で語ってもらう質問をした。今回はすべて市長の答弁となった。</p> <p>③ 過去には当局の答弁に撤回の申し入れを行ったこともある。ご意見としてお聞きする。</p> <p>④ ご意見としてお聞きする。</p> <p>⑤ ご意見としてお聞きする。</p>

市 民		対 応
	⑥ 南谷地区も区ごとの活動が難しくなっている。昨年から自治協の改革もやっつながりを強めた。昭和 60 年代に鉦山が閉山した後、様々な歴史を歩んできた。明延区も頑張っている。多くの人が亡くなったが、まだ歴史を語れる人がいる。声に耳を傾けてもらいたい。	⑥ 議員として集落の維持をめざす条例づくりを考え、市民から話を聞き始めている。 少子化が進み出生数が 60 人程度という時を迎えた。学校の在り方を考えても 10 年前から準備しないといけない。ある日突然なくなるということであってはいけない。市長・議会・市民と言わず、アイデアや知恵を出し合い根本的に取組んでいかなければならない。
その他 (提言など)	なし	
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和 7 年 11 月 18 日

報告者 3 班 班長 浄慶 耕造